

## 開披再点検で明らかとなった事案の調査結果について

平成 27 年 4 月 12 日執行の相模原市議会議員選挙南区選挙区の当選無効についての異議の申出に関し、その審理のために平成 27 年 5 月 20 日に市選挙管理委員会が行った開披再点検で明らかとなった事項について平成 27 年 5 月 25 日から調査を進めておりましたが、その調査において白紙投票の処理に係る不適切な集計をしていたことが判明いたしました。

これまでの調査結果を報告するとともに、本件について関係する方々及び市民の皆様には御迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

### 1 調査項目

- (1) 投票の効力判定で市選挙管理委員会と南区選挙管理委員会で判断が異なったこと
- (2) 白紙投票数が選挙録より 8 票多かったこと
- (3) 持ち帰りと思われる票数がマイナス 6 票となること

### 2 調査結果

#### (1) 投票の効力判定で判断が異なったことについて

効力判定に従事した審査 2 系の職員への聞き取り調査から、開票事務の手引のとおり処理されていましたが、問題となった投票について具体的に記憶を留める職員はおりませんでした。

また、効力判定にあたっては複数の職員で確認を行っていたものの、場合によっては比較的経験の多くない職員同士の組み合わせとなった可能性があり、結果的に効力判定に誤認が生じた恐れがあります。

#### (2) 白紙投票数が選挙録より 8 票多かったことについて

市議会議員選挙の開票に従事していた南区選挙管理委員会事務局職員に聞き取りを行ったところ、南区選挙管理委員会事務局長を含む事務局職員 3 人が白紙投票の端数束の投票数を 8 票少なくすることで、全体の辻褃を合わせる不適切な集計をしていたことが判明しました。

この集計は開票作業終盤において、投票の総数が投票者総数を 6 票上回っていたことから、再点検を行うことで生じる開票事務の混乱等を恐れるとともに、開票事務を早く終了させるため、候補者の得票数に影響のない白紙投票数で調整したものです。

内容としては、最後に残っていた白紙投票の端数束の票せんの数を 91 票から 8 票少ない 83 票に調整したとのことでした。

(3) 持ち帰りと思われる票数がマイナス6票となることについて

投票者総数の算定について確認するため、投票録等の入力データに係る調査、投票用紙の残数調査、投票所入場整理券の調査を行いました。現時点で投票者総数の102,300人を訂正する事由は確認されませんでした。

なお、期日前投票及び当日投票で使用した全ての投票所入場整理券の個人バーコードをパソコンに読み取り、投票者データと突合する作業を近日中に行います。

3 今後の対応

- (1) 白紙投票数を調整した不適切な集計については、候補者の得票数への直接の影響はありません。
- (2) 不適切な集計に関わった職員につきましては、関係機関と調整し、厳正に対処してまいります。
- (3) 今後の対応につきましては、当選無効についての争訟が現在係争中であることから、神奈川県選挙管理委員会の裁決の状況を踏まえ、第三者委員会の設置も視野に入れながら、再発防止策を検討していく予定です。

**問合せ先**

**相模原市選挙管理委員会事務局**  
直通電話 042-769-8290  
対応責任者氏名 井上、安西

**相模原市南区選挙管理委員会事務局**  
直通電話 042-749-2117  
対応責任者氏名 金田